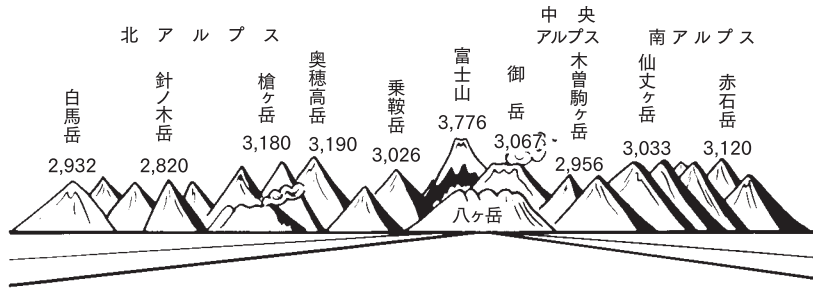


第 54 号

平成26年5月



砂防ニュースレター「長野」



日岐沢砂防堰堤 東筑摩郡 生坂村 H26年2月完成
 H=12.5m L=68.0m C=195百万円 (H22~H25)

目次

「全国治水砂防促進大会」開催・要望活動	2	住民主導型警戒避難体制づくりの取組み	6, 7
平成26年度 砂防関係予算	3	歴史的砂防施設について	8, 9
「第54回砂防および地すべり防止講習会」開催される	4	着任挨拶：多治見砂防国道事務所長	10
長野県砂防ボランティア会長、知事へ活動報告	4	着任挨拶：湯沢砂防事務所長	11
平成25年度に完成した砂防堰堤	5	平成26年砂防課人事異動について	12
		長野県治水砂防協会行事等経過・予定	12

「全国治水砂防促進大会」開催される



平成25年11月19日(火)「全国治水砂防促進大会」が砂防会館別館シェーンバッハ・サボー(東京都千代田区)で開催されました。当日は会員等1,035名が参集し、本県からは佐々木会長をはじめ約70名(内29名町村長、3副町村長の皆様)の会員、関係者に御出席いただきました。

大会に先立ち、奈良県知事の荒井正吾氏より「平成23年度紀伊半島大水害における深層崩壊の解明と復旧・復興対策について」と題して特別講演が行われました。大会では、最初に綿貫会長より挨拶があり、太田国土交通大臣より祝辞がありました。次に国土交通省大野砂防部長から「国土と砂防」と題して講演がありました。その後、会員代表として栃木県さくら市長・人見健次氏及び三重県いなべ市長・日沖清氏による意見発表が行われました。その後、村上副会長(宮城県蔵王町長)から大会提言(案)の説明がなされました。提言(案)に対して、高橋木曾南部土砂防災ネットワーク議員連盟会長が市町村議員としての賛成意見を述べ、最後に大会提言は満場一致で採択されました。

要望活動の実施



大会を終え同日午後、佐々木会長は全国協会と一緒に財務省等へ代表要望活動へ行かれました。当協会は唐木副会長、宮川副会長をはじめ役員、会員関係者により2班で要望活動を行いました。国土交通技監室においては、足立技監に宮川副会長より要望書が手渡されました。衆・参議院会館では、唐木副会長より県選出国會議員に要望書が手渡されました。大勢の町村長の皆様に御参加をいただき、この場をお借りして御礼申し上げます。



平成26年度 砂 防 関 係 予 算

平成26年度の本県砂防関係事業の当初予算は、補助公共事業費が97億円余で対前年比1.03、県単独公共事業が4億6千万円余で対前年比0.97となっており、災害関連事業を加えた全体事業費は110億円余、対前年比1.02となっています。

なお、補助公共事業につきましては、25年度2月補正予算において、経済対策として26億円余を計上しており、平成26年度当初予算と併せて123億円余、対前年比1.31となります。

(単位：千円)

事業名	H25.2月補正 (経済対策分) (A)	H26年度 当初予算 (B)	(A)+(B) (C)	H25年度 当初予算 (D)	対前年 当初比 (B)/(D)	H25.2月 補正含み (C)/(D)
○砂防総務費	0	314,295	314,295	321,219	0.97	0.97
○補助公共						
□砂防費	2,197,900	5,697,000	7,894,900	5,591,444	1.01	1.41
□地すべり対策費	476,900	1,626,000	2,102,900	1,626,000	1	1.29
□急傾斜地崩壊対策費		2,401,000	2,401,000	2,202,000	1.09	1.09
小計	2,674,800	9,724,000	12,398,800	9,419,444	1.03	1.31
○災害関連事業						
□砂防費		300,000	300,000	300,000	1	1
□地すべり対策費		300,000	300,000	300,000	1	1
□急傾斜地崩壊対策費		200,000	200,000	200,000	1	1
小計	0	800,000	800,000	800,000	1	1
○県単独事業費						
□砂防費		243,335	243,335	243,335	1	1
□地すべり対策費		93,500	93,500	93,500	1	1
□急傾斜地崩壊対策費		127,400	127,400	127,400	1	1
小計	0	464,235	464,235	464,235	1	1
○砂防受託費		15,000	2,200	2,200	6.81	1
計	2,674,800	11,317,530	13,992,330	11,007,098	1.02	1.27

～ 平成26年度主要事業 ～ 「災害時要援護者・避難所をまもる総合的な土砂災害対策について」

県総合5カ年計画において地域防災力の向上に向けた達成目標である「災害時要援護者関連施設」をまもるハード対策を引き続き計画的に推進します。

また、新たな指標として「避難所」をまもるハード対策とソフト対策が一体となった総合的な土砂災害対策も計画的に推進します。

土砂災害特別警戒区域に立地する避難所の対策

避難所数 (※1)	土砂災害特別警戒区域 に立地する避難所数	ハード対策で対応する 避難所数	ソフト対策で対応する 避難所数
4,134	120	24	96

(※1) 市町村地域防災計画に記載の避難所



第54回砂防および地すべり防止講習会開催される

平成26年2月20・21日に(一社)全国治水砂防協会主催による「第54回砂防および地すべり防止講習会」が砂防会館別館シェーンバッハ・サボアで開催されました。

岡本理事長による主催者挨拶の後、赤木賞授与式が行われ、受賞された立山カルデラ砂防博物館理事、立山砂防女性サロンの会アドバイザー吉友嘉久子氏から「崩れと生きる人々ー立山カルデラの砂防工事が語りかけてくるものー」と題して特別講演が行われました。



講習会場の様子



岡本理事長挨拶



古林徳文薬師沢砂防惣代長

続いて行われた講演プログラムでは国土交通省大野砂防部長をはじめ、砂防部保全課山本課長補佐、砂防計画課地震・火山砂防室岡本室長、奈良県十津川村更谷村長、福井県土木部砂防防災課沢崎課長、元神宮司庁営林部木村部長、元琵琶湖河川事務所宮本副所長、高知県四万十町立十川小学校松岡校長が講演されました。

長野県からは薬師沢砂防惣代長の古林徳文氏が「今も引き継がれる長野県砂防惣代制度」と題し、過去の地すべり災害の歴史や砂防惣代の役割について講演されました。

講師のみなさんより、最近の土砂災害防止活動の取り組みや、災害歴史の伝承など、多岐にわたる、内容の充実した講演をいただきました。(当協会からは15名の会員市町村職員が参加)

長野県砂防ボランティア協会 阿部知事へ活動報告

長野県砂防ボランティア協会には平成8年度の発足以来、土砂災害防止活動として、土砂災害危険箇所のパトロールや歴史的砂防施設等の維持管理、土砂災害対策に係わる一般住民の方々に対しての啓発活動などに貢献していただいております。

去る3月14日に尾坂会長と唐澤顧問が県庁を訪れ、北村前部長、田中参事臨席のもと、阿部知事に日頃の活動を報告されました。

尾坂会長から、昨年6月18日に長野市で開催した総会に、平成24年に姉妹協会協定を締結した長崎県治水砂防ボランティア協会の秦武久砂防事業部長が来長され、交流を深めたことや、土砂災害に関する知識の普及・啓発活動として、小学生などを対象とした「地附山の地すべり学習おやこ大会」、歴史的砂防施設の維持管理活動など、多方面にわたり土砂災害防止活動を実施したことが報告されました。

また、昨年知事との懇談のなかで話題となった「イノシシの牙を使った工芸品」が唐澤顧問から阿部知事に贈呈されました。知事は、唐澤顧問の説明に耳を傾けながら、贈られた額の出来栄えの素晴らしさに感心されていました。



平成25年度に完成した砂防堰堤等の紹介

通常砂防事業

にしまるさわ 西丸沢 北相木村 坂上

事業概要

砂防堰堤工 2基

H=6.5m L=31.0m (写真)

H=9.0m L=32.0m

全体事業費 C=300百万円

施工期間 H21～



通常砂防事業

ふじ おきわがわ 富士尾沢川 安曇野市 豊里

事業概要

堆積工

L=230.1m W=24.5m

砂防堰堤 1基

床固工 3基

全体事業費 C=430百万円

施工期間 H19～



火山砂防事業

にしわくいさわ 西涌井沢 中野市 涌井

事業概要

砂防堰堤工

H=9.0m L=41.0m

部分透過型

全体事業費 C=200百万円

施工期間 H21～



住民主導型警戒避難体制づくりの取組みについて

地域から土砂災害による犠牲者を出さないためには、砂防堰堤の整備などのハード対策とともに安全な場所に早めに避難するためのソフト対策が重要です。特に、行政側から提供される情報や災害の兆候により地域住民が適切に避難する仕組みづくりが欠かせないものとなっています。

特に今年4月に内閣府が作成した新たな「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(案)」には、市町村の責務と各人の避難行動の原則が明記されています。これには、「住民の生命、身体を保護するために行う市町村長の責務は、住民一人ひとりが避難行動をとる判断ができる知識と情報を提供することであり、住民は、これらの情報を参考に自らの判断で避難行動をとることとなる。」と記載されています。

県では、平成22年から、住民自らの判断で避難行動をとるための支援として、群馬大学片田敏孝教授の指導による住民主導型警戒避難体制づくりに取り組んできました。

1. 取組実績

年度	H22	H23	H24	H25	H26
実施地区	佐久市 苦水	青木村 木立、洞	長野市 信更	生坂村 上生坂4地区	長和町 (予定)

2. 取組の具体的な流れ

住民主導型警戒避難体制の構築フロー

①片田教授による防災講演会

- 警戒避難体制の構築の必要性
- 避難の心構え
- 防災教育の事例
- 釜石での教訓

について学びます。

①防災講演会の様子



②住民懇談会の様子



②住民懇談会 3回

【第1回】
地域の土砂災害危険箇所を把握する

- 過去に発生した災害時の様子や大雨が降った際に見られる異常現象、避難時に危険な箇所等を取りまとめ、地域の具体的な土砂災害危険箇所を確認します。

②住民懇談会で作成する防災マップ



【第2回】
地域独自の具体的な避難方法を考える

- 第1回懇談会で把握した地域内の土砂災害危険箇所を踏まえ、地域の実態にあった独自の避難方法を考えます。

③防災マップの内容を確認する避難訓練の実施



【第3回】
警戒避難体制の仕組みを地域住民全員に周知する

- これまで決めてきたことをまとめ、その内容を住民に広く周知するため、防災マップを作成します。

③避難訓練の実施

- 懇談会で作成した防災マップを確認するために避難訓練を行います。
- また、構築した警戒避難体制を継続することが大事なことから、避難訓練を毎年実施するなど、地域で継続的に活用されるための仕組みを作ります。

3. 取組に対する支援

- (1) 取組を県職員や市町村職員が主体となって運営し、多くの市町村で取り組めるように、「土砂災害住民主導型警戒避難体制構築マニュアル(案)」を作成し、各市町村へ配布しました。

また、県HPからもダウンロードすることができます。

(URL : <http://www.pref.nagano.lg.jp/sabo/infra/sabo/dosha/hinan/jyuuminsyudougatamanyuaru.html>)

- (2) 平成25年度には、このマニュアルを用いた研修会を、県建設事務所及び市町村職員を対象として開催し、行政職員のスキルアップを図りました。



研修会の様子

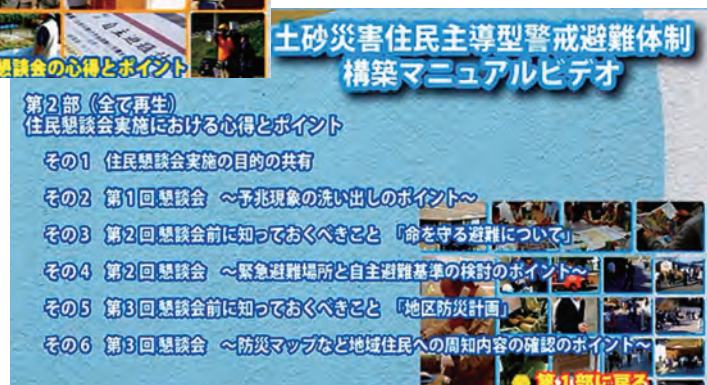
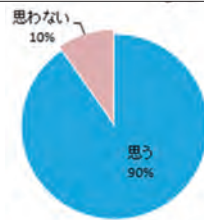
研修会の参加者の9割が、今後この取組を実施したいという意向を示しており、県としては引き続き、研修会開催等を通して取組のための支援を実施してまいります。

さらに、地域の皆様がこの取組を容易に運営できるように、これまでの取組のポイントをまとめた「土砂災害住民主導型警戒避難体制マニュアルDVD版」を作成し、5月から6月にかけて開催する地域土砂災害対策推進連絡会において説明するとともにDVDを配布する予定です。

参加者アンケート

(設問)

あなたは、この取組を実施していきたいと思いませんか。



DVD画面イメージ

4. 平成26年度の取組予定

平成26年度は、各建設・砂防事務所管内の1市町村以上で住民主導型警戒避難体制の取組による防災訓練を行うことにしています。

来る7月12日(土)午後6時30分からは群馬大学片田敏孝教授による講演会を長和町で開催する予定です。開催案内を通知しますので、各市町村の担当者の皆様にはぜひ来場いただき、それぞれの市町村で住民主導型警戒避難体制の構築をお願いします。

歴史的砂防施設について

平成26年3月18日の文化審議会において、麻績村の芦澤第一号石積堰堤ほか3基の堰堤を登録有形文化財へ登録するよう答申がなされました。これで、長野県内の砂防関係の文化財は、重要文化財が1箇所、登録有形文化財が5箇所となります。



種別	重要文化財		登録有形文化財			
	河川名	①牛伏川	②荏沢川	③薬師沢	④芦澤川	⑤梓川
施設名称	牛伏川本流水路工	荏沢川第一号石堰堤 他3基	薬師沢石張水路工 他3設備	芦澤第一号石積堰堤 他3基	釜ヶ淵堰堤	上蔵堰堤
市町村	松本市	千曲市	小川村	麻績村	松本市	大鹿村
指定・登録日	H24. 7. 9 指定	H21. 1. 8 登録	H21. 1. 8 登録	登録予定	H14. 8. 21 登録	H21. 4. 28 登録
施工年代	大正7年	明治17年頃	明治18年～ 明治後期	明治20年	昭和17年	昭和28年
管理者	長野県	長野県	長野県	長野県	国 (松本砂防事務所)	国 (天竜川上流河川事務所)

長野県では平成17年から、砂防施設等の日常の維持管理活動をしていただく地域の方々と確認書を締結し、機械の燃料費、伐木の処分費、保険料等、活動に必要な経費の支援を行う事業を実施しています。平成26年4月1日現在、66地区で63団体が活動しています。歴史的砂防施設においても、地元を中心に、草刈りなどの維持管理を継続的にを行い、施設を良好な状態で残すための努力がなされています。



薬師沢

「砂防惣代」を中心に、中学生も参加して維持管理活動を行っています



牛伏川

牛伏・鉢伏友の会や、砂防ボランティアが草刈り等を行っています



蜂ヶ沢

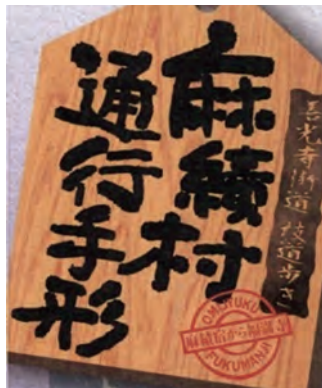
砂防学習公園として整備された施設の清掃活動を行っています

また、歴史的砂防施設は、土砂災害からくらしを守る施設としての機能を果たすとともに、歴史を後世に伝える役割も担っています。多くの人に知ってもらうための活動も各地で行われています。



防災遺産シンポジウム

牛伏川本流水路工の重要文化財指定を記念し、H24から開催されています



麻績村通行手形

村の観光名所めぐりコースの中に砂防堰堤が紹介され、現地には地元の中学生が作成した案内板が設置されています



今後は、地元の方がより身近に知って、関わっていただくことに加えて、観光資源として発展させることにより、地域の財産としての価値を高めることが期待されます。そのために、周辺環境の整備を進めることはもちろん、多くの人に魅力を伝えていく有効な方法を検討することが必要です。歴史的砂防施設を活用したい方、世間に広める良い案をお持ちの方は県庁砂防課調査管理係今井までぜひご連絡ください。

e-mail : sabo@pref.nagano.lg.jp

着 任 挨 拶



多治見砂防国道事務所長
草 野 慎 一

本年4月1日付で、多治見砂防国道事務所の所長に着任致しました草野と申します。長野県治水砂防協会の皆様方には大変お世話になります。よろしくお願い致します。

私は平成21年から平成22年にかけて、駒ヶ根市にあります天竜川上流河川事務所で勤務した経験があり、長野県内の砂防事業に係わらせて頂くのは今回で2回目となります。前回の勤務でも、長野県治水砂防協会の皆様、また長野県砂防課の皆様には大変お世話になっており、また皆様方と一緒に仕事ができる機会を得られて、大変嬉しく感じております。

さて、多治見砂防国道事務所では長野県内では木曾川流域の左岸側となる、中央アルプスの西側斜面地域において直轄砂防事業を実施させて頂いております。行政区域では北から上松町、大桑村、南木曾町の2町1村さんの区域内です。



緊急除石の対応
(滑川第1砂防堰堤、H24)

今年度は、上松町さんの区域内では、国内でも屈指の規模を有する砂防堰堤である「滑川第一砂防堰堤」において既に堆積した土砂を取り除いて機能回復を行う事業の継続実施や、同じく滑川で上流域に「滑川遊砂工」という名称の連続した床固工を配置するための用地取得等を実施していく予定です。

大桑村さんの区域内においては、中央部に鋼製のスリット構造を有する砂防堰堤としては国内で最大級の「越百第三砂防堰堤」の工事を継続すると共に、国内



既設砂防堰堤へのシャッター設置
(上山沢第1砂防堰堤、H25)

小水力発電の設置
(梨子沢砂防堰堤、H25)

でもまだ設置事例が極めて少ない「シャッター付砂防堰堤」の一つである「上山沢第一砂防堰堤」において、そのシャッター機能の検証を行うためのモニタリング調査を実施して参ります。

また、南木曾町さんの区域内では、完成まで全体で10年程度を見込んでいる大規模事業である「和合蛇抜沢沈砂工」の工事用道路の建設に着手すると共に、町役場にもほど近い梨子沢の「梨子沢第二砂防堰堤」に設置済みの小水力発電機（砂防堰堤の落差を用いた小型の水力発電）について本年度後半から実証実験を開始します。この実証の結果を基に、他の地域でも砂防堰堤を用いた発電を普及させるための技術的な手引きの作成を進める予定としています。

さらに、管内には長野県と岐阜県にまたがって御嶽山があります。この御嶽山が万が一噴火をした際に被害の最小化を図るための「御嶽山の火山噴火緊急減災対策砂防計画」を平成23年7月に策定済みであり、今後この計画の具体化を進めるための体制づくりに取り組んで参ります。

上記のような事業を実施するため本年度は木曾川水系直轄砂防事業（長野県分）として約14億円の予算を配分頂いております。財政状況が厳しい中で、なんとか必要予算の確保ができておりますのも、地域選出の国会議員、県会議員の皆様、そして町村長、町村議会議員の皆様の御支援の賜であると思っております。改めて御礼申し上げますとともに、皆様の期待に応えるべく地域の安全向上のために事業の推進に努めて参る所存です。

最後になりましたが、私は登山を趣味にしており、中央アルプスや御嶽山に登れるのを今から楽しみにしているところです。それでは、今後皆様には大変お世話になりますが、宜しく願い致します。

着 任 挨 拶



湯沢砂防事務所長
越 智 英 人

4月1日に湯沢砂防事務所長となった越智英人です。湯沢砂防事務所は、新潟県湯沢町に事務所を構えており、信濃川水系魚野川、清津川、中津川の各流域の砂防事業および地すべり事業を担当しています。中津川の上流に長野県栄村、木島平村、山ノ内町が位置しており、現在は栄村内で事業を実施しております。今年、平成16年の新潟県中越地震から10年になります。旧山古志村を中心に多数の斜面崩壊が発生しましたが、ずいぶんと復旧・復興が進んでいます。関係機関と連携して、復旧・復興の現状を全国に発信していきたいと考えておりますので、この機会に是非、一度足を運んでいただければ幸いです。

砂防事業及び地すべり事業は、土砂災害から地域を守り、地域の発展を下支えするための事業です。この

地域住民に密着したコミュニティラジオ放送の活用



砂防講座の収録風景



ラジオ局による砂防工事現場レポート



ラジオ放送局内へのポスター展示



レポーターによるブログ

ため、地域の皆さんと一緒に、安全で安心できる地域づくりのために、当事務所として何が出来るか考えてまいります。地域の困りごとなどありましたら、何なりとご相談いただければ幸いです。

着任早々、雪解けに伴う斜面崩壊があちこちで発生しており、また、被害は確認されませんでした。長岡市で震度4の地震も発生しました。平成23年3月11日の東日本大震災や翌12日長野県北部地震のように、いつ、どこで大規模な地震が発生してもおかしくないと考えております。しっかりと気を引き締めて、危機管理対応にあたっていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

…＜湯沢砂防事務所のPR活動＞…

湯沢砂防事務所では、地域の皆さんに砂防事業を理解していただくため、PR活動にも積極的に取り組んでいます。地元FMラジオと連携した砂防工事現場レポートや地元自治体の防災訓練への参加なども行っています。

防災訓練への参画等

【H24. 7 南魚沼市総合防災訓練】

土石流体験装置



体験前にパネルを用いて土砂災害について説明

【H24. 12 みんなの防災フェア】



平成26年4月 長野県建設部砂防課・人事異動

◎転 入

砂防課 企画幹へ
木村 智行 (南信会計センター)
砂防課 調査管理係担当係長へ
矢口 大輔 (危機管理防災課)
砂防課 調査管理係へ
今井 文乃 (北信建設事務所)
砂防課 調査管理係へ
臼井 雅夫 (新規採用)
砂防課 砂防係 担当係長へ
傳田 利光 (松本建設事務所)
砂防課 地すべり係担当係長へ
荻窪 孝 (木曾建設事務所)

◎転 出

下伊那南部建設事務所長へ
柳瀬 勝弘 (砂防課企画幹)
大町建設事務所 整備課 課長補佐兼整備第三係長へ
本藤 晴巳 (砂防課 調査管理係担当係長)
企業局 電気事業係 担当係長へ
柳沢 末夫 (砂防課 調査管理係担当係長)
安曇野建設事務所 維持管理課へ
深澤 哲次 (砂防課 調査管理係)
建設政策課 自治法派遣 (岩手県) へ
清水 将之 (砂防課 砂防係)
上田建設事務所 維持管理課 課長補佐兼維持係長へ
柳澤 豊茂 (砂防課地すべり係担当係長)

平成26年度 主な行事経過・予定

2月20～21日	第54回砂防および地すべり防止講習会	東京都：砂防会館別館1階
5月27日	全国治水砂防協会評議員会	東京都：砂防会館別館3階
〃	〃 賛助会員情報連絡会議	東京都：砂防会館別館3階
〃	〃 参与会	東京都：砂防会館別館3階
5月28日	第78回全国治水砂防協会通常総会	東京都：砂防会館別館1階
〃	長野県治水砂防協会砂防講演会	東京都：砂防会館別館3階
6月1～30日	土砂災害防止月間	
6月5～6日	平成26年度土砂災害防止「全国の集い」	熊本県：熊本市
6月12日	長野県砂防ボランティア協会総会	長野市：ふれあい福祉センター
7月5～6日	大人の文化祭	長野市：Mウェーブ
7月15日	長野県治水砂防協会監査	長野県庁
7月23日	長野県治水砂防協会理事会	長野市：メルパルクNAGANO4階
7月23日	第76回長野県治水砂防協会通常総会	長野市：メルパルクNAGANO3階
11月17日	全国治水砂防協会参与会	東京都：砂防会館別館3階
〃	〃 賛助会員情報連絡会議	東京都：砂防会館別館3階
11月18日	全国治水砂防促進大会	東京都：砂防会館別館1階
〃	長野県治水砂防協会要望活動	東京都：衆・参議院議員会館、国土交通省

編集後記

平成26年3月18日、芦沢川(麻績村)の石積堰堤が国の登録有形文化財へ登録するよう答申がなされました。明治20年に当時の内務省が構築した砂防堰堤で、現在は4基が建設当時のままの姿で残っています。遊歩道も整備されています。一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

当協会では皆様からの記事を募集しております。お便り等お待ちしております。

●第54号 編集・発行 長野県治水砂防協会 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 長野県建設部砂防課内
TEL 026 (232) 0144 E-mail: n-sabo@sky.plala.or.jp